



アンタリスソーラーのモジュール、温度耐性テストで、過酷な温度条件下での高い温度耐性を実証

ドイツ、ヴァルダシャフ - 2013年9月18日 - ドイツの太陽電池メーカーであるアンタリスソーラーは、ベルリン太陽電池研究所(PI)に委託し、アンタリスソーラーのAS Mシリーズのモジュールの温度耐久性テストを実施しました。その結果、過酷な温度条件にさらされた場合でも、アンタリスソーラーのモジュールや部品の性能への悪影響は見られず、アンタリスソーラーのモジュールの高い堅牢性が実証されました。これによりアンタリスソーラーのモジュールが暑い地域や砂漠での使用に適していることが確認されました。

太陽電池モジュールは太陽光を受けるために設計されています。しかし、過度な太陽光はモジュールに悪影響を与える場合があります。また、モジュールによっては大きな温度変化に耐えられないものもあります。

今回のテストでは、数社の太陽電池モジュールを過酷な温度条件下に設置して調査を行いました。モジュールは人工気候室で-40度から85度の温度変化にさらされ、最終段階ではモジュールは85度で8時間近く、100度で1時間放置されました。

結果、極端な高温および低温、大きな温度変化に対するモジュールの耐性にはばらつきのあることがわかりました。テストの後、物理的損傷を示したモジュールもあれば、さらなるテストにおいて効率性の低下を示したものもありました。

しかし、アンタリスソーラーのAS Mシリーズのモジュールには、人工気候室を出た後でも物理的損傷は見られず、またフラッシュテストでも性能が損なわれていないことがわかりました。

ベルリン太陽電池研究所でアンタリスソーラーの製品の品質管理を担当するPICON SOLARのIlka Luck博士はこの度のベンチマークテストの結果を次のように総括しています。
「テストの結果、太陽電池モジュールによっては、大きな温度変化と極端な高温および低温に耐えられないものがあることがわかりました」

さらにテストを重ねた結果、過酷な温度条件下、平均を上回る太陽光照射下では、アンタリスソーラーのAS Mシリーズのような堅牢なモジュールが長期的な使用に適していることがわかりました。

アンタリスソーラーのCEO、ミヒヤエル・ゲーデ博士は以下のようにコメントしています。
「今回のテスト結果で、当社のモジュールに対する品質改善が実を結んだことが証明され、非常に嬉しく思います。耐熱特性はアンタリスソーラーのモジュールの重要な特性で、これにより熱帯地方や砂漠といった過酷な気候下でも長期にわたる使用が可能になります」



アンタリスソーラーのモジュールは、過酷な温度条件下でも高い信頼性、最高の発電容量を保持します。

アンタリスソーラーについて

アンタリスソーラー (www.antaris-solar.jp) は、最先端の太陽光技術を施工業者や電力供給の代理店に提供する、ドイツの主要なプロバイダーです。自社ブランドの太陽電池パネルシリーズ、インバータ、架台といった一連の太陽電池製品を提供しています。

本社をドイツに置き、イギリス、米国、および日本に支店があります。アンタリスソーラーは、ドイツのゴーデグループ (GOEDE Group) (www.goede.com) の一員です。

<本リリースに関する報道関係からのお問い合わせは下記にお願いいたします>

アンタリスソーラー日本支店(アンタリスソーラー Japan)

(日本リニューアブルエナジー株式会社内)

TEL: 03-5255-3340 Fax: 03-3231-4900

Email: info@antarist.jp

プレスお問い合わせ窓口(アンタリスソーラージャパンPRエージェンシー)

株式会社ブラッド・スウェットアンドビアーズ

早田 真由美

TEL: 03-6809-2301 FAX: 03-6809-2302

Email: hayata@bsbeers.com